2022 年度

社会福祉法人日本点字図書館
事業報告

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

≪重点項目≫

はじめに

2020 年 1 月に国内で感染が確認された新型コロナウイルスは、爆発的な感染を繰り返しながら今日に至っていて、人々の日常生活や社会経済活動等に大きな影響を与えている。「収束」は不透明な状況であり「ウイズ・コロナ」の言葉が聞かれるように、今や世界は新型コロナと共存しながら最善を尽くすことが求められているとも言える。加えて国際秩序を崩壊させるロシアのウクライナ侵攻は各所に影響をもたらしているが、とりわけ世界経済への影響は大きく、相次ぐ物価の値上げを引き起こし、人々の生活を不安定にさせた。2022 年度を振り返るとき「新型コロナ」「ロシアのウクライナ侵攻」は年度を象徴する言葉となったことは確かであり、この二つの事象は私たちの社会、日常に深く入り込み、生活を左右していることを痛感させられる。

当館の 2022 年度は、理事長・館長が交代し、新規一転、新たな体制での運営を始めた年度になるが、上記二つの事象が引き起こす波は否応なく当館へも押し寄せ、厳しい運営を強いられた。

新型コロナ感染については、感染防止対策を徹底させながら事業を進めたが、感染爆発の発生ごとに職員にも罹患する者が出て現場の人手が薄くなることもあった。一方で、状況を注視しながらではあるが、一部のイベントは対面で開催し、また外部のイベントの出展への依頼にも応じるなどした。とはいえ、新型コロナ感染前の実績を取り戻すことはできなかった。

物価の高騰は、資料等の点字化・音声化の受注額や視覚障害者用具の販売額の値上げを引き起こし、結果、回復幅は期待するほどに伸びなかった。さらには光熱費の高騰は想定外の支出を呼び起こし、財政を苦しめ、次年度の予算編成を悩ませた。

以下に、事業計画に設定した五つの重点項目について実施した事項を報告する。

1. 各サービスの利用拡大

図書、用具、自立支援の各サービスにおける利用者の拡大を図るべく、医療・福祉・教育関係機関と連携して情報発信を行った。

①教育機関との連携

図書情報課職員が視覚障害関係教育機関へ出向き、読書手段や情報提供サービスに関する授業を実施し、若年層の図書館利用を促すとともに、点字図書館利用のニーズの動向を把握した。(6 月:筑波技術大学保健科学部新入学生、筑波大学理療科教員養成施設 2 年生、11 月：都立文京盲学校生徒・保護者)

一方、特別支援学校からの館内見学にも積極的に対応し、図書利用や用具購入に結び付けた。(4 月：筑波大学附属視覚特別支援学校高等部新入生、6 月：埼玉県立塙保己一学園理療科専攻科生徒、栃木県立盲学校、10 月：千葉県立千葉盲学校教諭)

②福祉機関との連携

用具事業課では 6 月、東京都の関連組織が主催する「日常生活用具給付等事業担当者研修」と「福祉用具サービス従事者講習会」に参加し、視覚障害者用具に関する情報を提供するとともに、用具関連のニーズ情報を収集した。

川崎市視覚障害者情報文化センターでは、川崎市主催の研修会にセンター職員が講師として参加し、センターの事業概要、訓練の実際（歩行・ICT）についての説明を行った（市内の障害者相談支援センター・事業所、リハビリテーション関係者、行政関係者が参加)。当事者と接する可能性の高い市内のサービス機関へセンターの事業内容を説明することができた。

③医療機関との連携

自立支援課では、6 月と 11 月の 2 回、お茶の水・井上眼科クリニックが主催する「見えにくさ相談会」に出向き、来院者の相談事に応じた。

④図書貸出の促進

複数のデイジー図書をひとまとめにしてSD カード等で提供する「セレクトパック企画」について、第 1 弾を 7 月から 9 月に、第 2 弾を 12 月から 2 月で実施し、昨年度を大きく上回る実績を得る等、好評を得た。

⑤利用登録者拡大に向けた取り組み

7 月以降、館長の下で都内市区町村別の視覚障害者数と当館利用登録者数を調査し、登録率を算出して分析と考察を進めた。都内在住の視覚障害者の当館への登録率は 10%程度であることがわかった。

2．製作体制の充実

①点訳者のスキルアップ

蔵書点訳者向けの講習会として 12 月、「蔵書点訳の基本と注意点 2022 年版について」を対面で開催した。

希望点訳部門では、9 月に「プライベート点訳への期待 Part2」を、3 月に「あなたのお調べをサポートします」の研修会を対面とオンラインで実施した。また終了後も一定期間 YouTube で配信し、より多くの関係者に視聴いただけるよう対応した。

②点訳者の養成

川崎市視覚障害者情報文化センターでは、対面方式による点訳ボランティア養成講座（全 16 回）を実施し、4 名が修了した。

③録音関係協力者のスキルアップ

蔵書用録音図書製作では、活動中のボランティアの朗読の技術向上を図るため 10 月、プロのナレーターを講師として招聘し、対面とオンラインのハイブリッド式での研修を行った。12 月には、スタジオボランティア懇談会を開催し、調査についての研修や利用者からの声を聴く機会をもった。また、びぶりお工房月例会を毎回オンラインで開催し、職員とボランティア間で製作途中での検討事例を共有した。

個人朗読部門では、9 月に東京都委託希望声の図書ボランティアを対象に「医療（東洋・西洋）関係資料の朗読」を、3 月に東京都委託希望声の図書ボランティアならびに専門対面リーディングボランティアを対象に「個人朗読、対面リーディングへの利用者・館長のつぶやき」「音声デイジーの製作基準の変更について」の研修を対面とオンラインで実施した。また終了後も一定期間 YouTube で配信し、より多くの関係者に視聴いただけるよう対応した。

④職員のスキルアップ

点字製作課では、7 月と 8 月に点字編集システムの BESX 機能による校正の研修を、8 月に点訳校正担当の職員を対象とする勉強会を実施した。

録音製作課では、視覚的資料の説明（処理）の技術向上を図るため、課内で録音図書ミーティングを継続し、グラフの説明方法について意見交換を行ったほか、「デイジー教科書・図書の最新利用方法の報告会」や「教科書ネットワーク会議」に職員が参加し、製作関連の情報を収集した。

３．職員の確保と育成

①新規職員の採用

退職予定者の補充を前倒しで行い、二人の職員を採用した。

②職員の研修

常勤理事と部長からなる事業等検討委員会において、職員への研修の内容を整理し、実施時期や方法等の検討を進め、2022 年度以降の採用職員を対象とする初任者研修を 10 月と 11 月に実施した。

③職員の資格等の取得

録音製作課の職員 1 名が音訳指導員養成講習会を受講し、音訳指導員認定試験に合格してその資格を取得した。

生活支援部の職員 1 名が令和 4 年度第 2 回東京都サービス管理責任者基礎研修及び児童発達支援管理責任者基礎研修を、また別の 1 名が東京都相談支援従事者初任者研修を修了した。

4．電子図書館「サピエ」の将来構想の具体化

システム管理施設の立場から「サピエ」の発展の方向性やその実現の方策について、運営組織である全国視覚障害者情報提供施設協会に提言を行うと同時に、その実現に向けて協力した。具体的には検索性を高めるための新たな書誌データの登録方法や、国会図書館との連携方法の見直しを中心に、担当職員間で情報の共有化を図った。また全視情協が開発を進めているサピエ用 AI スピーカー機能について、認証機能と利用統計機能に関する具体的な要件を作成し、提言した。さらにサピエ専用端末におけるセキュリティレベル関連の課題について、詳細を全視情協に報告すると同時に、対策の実施等を端末メーカーに提言した。

5．業務体制の再編の検討

①事業等検討委員会の設置

従来の業務再編検討委員会を廃止し、新たに常勤理事と部長で構成する「事業等検討委員会」を発足させ、規定類や研修体制、各種委員会の整備等について月例で検討し、できるものから実行に移した。

②特定指定相談支援事業の廃止と新規相談事業の準備

特定指定相談支援事業の継続の可否について検討した。本事業は障害者総合支援法に位置づけられていることから多くの事業所で開設している。利用状況等をも含めて勘案すれば、当法人が展開する既存の事業の専門性やその特性を生かした新たな相談事業を展開していくことのほうが、利用者にも大きな利益につながること等から廃止することを決定した。これに伴い、関連する諸手続きや対応を進めると同時に、次年度から始める新相談事業「見えない・見えにくい困りごと相談デスク」設置の準備を進めた。

③「にってんワークショップ」の開催

施設公開の一環でこれまで年 1 回開催していた大イベント「オープンオフィス」に代わり、毎回数人程度の参加者を募って業務体験の機会を提供する「にってんワークショップ」を 5 月から 3 月まで毎月 1 回開催し、好評を博した。

Ⅰ≪社会福祉事業 1≫

視聴覚障害者情報提供施設の設置経営及び全国の視聴覚障害者情報提供施設に関する連絡事業

[利用サービス]

図書情報提供サービス

サービスの実績

		2022 年度	2021 年度
①	利用登録者数	12,742 名	12,648 名
	（新規登録者数 目標 500 人以上獲得）	349 名	360 名
	（点字使用者数）	6,345 名	6,388 名
②	利用登録団体数	596 団体	593 団体
	（新規利用登録団体数）	6 団体	6 団体

【個人利用登録者の除籍について】

349名の新規登録があった一方で、255名の除籍を行なった。内訳として、ご逝去や、認知症・寝たきりなど高齢で読書が困難となったという理由が判明しているだけで90%以上を占めている。

③ 点字図書の総数・蔵書数および貸出・提供数

「総数」とは、当館製作分で点字データのみで管理しているタイトルを含めた数である。なお、「蔵書数」については従来通り、冊子体として書庫に配架されている数である。

総数	（タイトル）	23,179 タイトル	22,871 タイトル
	（冊数）	84,946 冊	83,922 冊
蔵書数	（タイトル）	22,606 タイトル	22,302 タイトル
	（冊数）	84,373 冊	83,353 冊
蔵書数の変化	（新収書）	647 タイトル	661 タイトル
		1,793 冊	1,728 冊
	（除籍書）	773 冊	977 冊
貸出・提供数（目標 6,500 タイトル）			
		6,059 タイトル	6,639 タイトル
内訳			
（ア）USB・SD カード等		801 タイトル	763 タイトル
（イ）冊子体		5,258 タイトル	5,876 タイトル
		18,370 冊	21,251 冊

	（内 他館借受）	540 タイトル	510 タイトル
		1,461 冊	1,577 冊

④ 録音図書の総数・蔵書数および貸出・提供数

「総数」とは、当館製作分でデータのみで管理しているタイトルを含めた数である。なお、「蔵書数」については従来通り、媒体(CD)として書庫に配架されている数である。

総数	（タイトル）	25,587 タイトル	24,634 タイトル
	（巻数）	50,527 巻	52,081 巻
蔵書数	（タイトル）	19,973 タイトル	19,294 タイトル
	（巻数）	44,913 巻	46,741 巻
蔵書数の変化	（新収書）	739 タイトル	760 タイトル
		5,256 巻	5,584 巻
	（除籍書）	7,084 巻	5,884 巻
貸出・提供数(目標 233,000 タイトル)			
		234,782 タイトル	261,901 タイトル
内訳			
（ア）SD・CF カード等		80,957 タイトル	95,044 タイトル
（イ）CD 図書		82,530 タイトル	92,194 タイトル
		83,698 枚	93,135 枚
	（内 他館借受）	10,882 タイトル	11,143 タイトル
（ウ）CD 雑誌 （にってんデイジーマガジン含む）			
		71,257 タイトル	74,550 タイトル
		71,383 枚	74,719 枚
（エ）カセットテープ		38 タイトル	113 タイトル
		308 巻	696 巻
（オ）カセットテープ雑誌		0 巻	0 巻

⑤ にってんデイジーマガジン（目標 63,000 枚配布）

（ア）個人配布（CD）	5,407 名	5,623 名
（イ）団体配布（CD）	246 団体	251 団体
（ウ）外国在住者配布（CD）	8 名	8 名
（エ）年間配布数（CD）	67,051 枚	69,372 枚
（オ）サピエ図書館年間延べ利用	24,474 名	20,693 名

⑥ インターネット配信・サピエ図書館による資料の提供（当館分）

（ア）データのアップロード			
書誌データ	新規	873 件	995 件
	更新	3,256 件	3,942 件

削除	71 件	311 件
点字データ	152 タイトル	146 タイトル
音声デイジー	434 タイトル	472 タイトル
テキストデイジー	205 タイトル	300 タイトル
マルチメディアデイジー	12 タイトル	11 タイトル

（イ）データのダウンロード（点字）

プリントアウト	39 件	49 件
	65 タイトル	85 タイトル
	20,747 ページ	28,771 ページ

（ウ）利用者によるダウンロード（当館製作コンテンツ）

パソコン		
点字データ	14,238 回	17,292 回
音声デイジー	149,525 回	153,069 回
テキストデイジー	18,233 回	26,734 回
マルチメディアデイジー	532 回	289 回
デイジーオンライン		
音声デイジー	398,120 回	373,007 回
テキストデイジー	21,711 回	27,405 回
マルチメディアデイジー	768 回	648 回

⑦ レファレンスサービス、書誌データの整備ならびに日本目録規則に関する情報収集

オンライン蔵書目録利用者が、当館の蔵書の中から様々な角度からのアプローチで目的の資料を探し出せるよう、日本十進分類法(NDC10 版)に対応した当館の目録規則に従い、書誌データの整備を行なった。また、新たな日本目録規則(NCR2018 年版)について、国立国会図書館や公益社団法人日本図書館協会・株式会社図書館流通センター・システム開発保守業者等から情報収集を行なったが、まだ方針・対応が公開されていない団体もあるため大きな変動がなく、使用しているシステムに即影響を受けることがなかったため、課内担当者間での情報共有に止めた。

情報提供件数	65,418 件	70,093 件
情報提供先合計	5,915 件	6,152 件
（内　学生）	6 名	7 名
（内　社会人）	5,870 名	6,123 名
（内　団体）	39 団体	22 団体

⑧ 点字・録音図書の収集

点字購入図書	2 タイトル	1 タイトル
点字購入雑誌	12 誌	15 誌
録音購入図書	4 タイトル	4 タイトル

録音購入雑誌	1 誌	1 誌

⑨ 利用サービス部図書情報課による図書の即時製作選定

利用者の声を直接聞く図書情報課の選書委員に、一部製作選定権を与え、利用者ニーズの高い日本文学（小説）を中心に、点字図書 12 タイトル、デイジー図書 12 タイトルの製作選定を行なった結果、早期に当館が製作着手することができた。以下に製作選定した主なタイトルを紹介する。

・上田秀人著「布武の果て」　点字図書・デイジー図書で製作
・佐伯泰英著「浮世小路の姉妹」　点字図書・デイジー図書で製作
・堂場瞬一著「オリンピックを殺す日」　点字図書・デイジー図書で製作
・奥山景布子著「葵のしずく」　点字図書・デイジー図書で製作
・池波正太郎著「仇討ち物語」　点字図書で製作
・佐々木譲著「闇の聖域」　デイジー図書で製作

⑩ テレビ・デイジーの利用促進と提供

NHK（日本放送協会）の許可を得て、音声解説付きで放送されている NHK のテレビ番組から職員が選定し、録音した音源をデイジー編集した当館オリジナルのサービスであるテレビ・デイジーについて、にってんデイジーマガジンや当館のホームページにある蔵書検索・予約システムの WebOPAC、サピエ図書館の「施設からのお知らせ」等、積極かつ、迅速に製作選定と広報活動を行ない、視覚障害者等に対して CD 等で提供を行なった。

・テレビ・デイジー　総タイトル数　　298 タイトル
・2022 年度新規受入タイトル数　　48 タイトル

【2022 年度利用状況】

年間の貸出ベストリーダーの上位 100 位中、68 タイトルのテレビ・デイジーがランクインしている。利用の高かった主なタイトルを以下に紹介する。

・「日本の話芸」シリーズ
・「連続テレビ小説　カムカムエヴリバディ」
・「BS 時代劇　雲霧仁左衛門　5」
・「ドラマ 10　正直不動産」
・「ドラマスペシャル　海の見える理髪店」
・「ザ・ヒューマン　浅川智恵子～自由へのスーツケース～」

⑪ 利用者用目録の製作と提供

・点字図書新刊案内「にってんブレイル」
（年 6 回、点字版 1,260 部）を編集・発行
・録音図書新刊案内「にってんボイス」

（年 6 回、点字版 1,140 部・墨字版 1,500 部・録音版 33,567 部
計 36,207 部）を編集・発行

なお、録音版については、「にってんデイジーマガジン」及び「サピエ図書館」で提供した。

・年間追加目録

点字図書年間追加目録　点字版を編集・発行
録音図書年間追加目録　点字版を編集・発行
CD 図書年間追加目録　デイジー版を編集・発行

・蔵書目録の頒布　119 部

点字図書　点字版　14 冊頒布
録音図書　点字版 29 冊、墨字版 4 冊、CD 版 72 枚頒布

⑫ プライベートサービス

専門書を対象に事前予約制で対面リーディングサービスを実施した。
（目標：延べ 600 人）

延べ	227 名	118 名
利用時間	433 時間	239 時間
活動ボランティア	47 名	51 名

⑬ IT 教室の開催

コロナ感染拡大防止のため、引き続き初心者向けクラスの開講はできなかったが、土曜日の体験クラスは 1 回 60 分に短縮して開講した。

・初めてパソコンにふれる人を対象とした、予約制による 1 回 60 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回まで）の操作体験クラス

開催回数	2 回	5 回
受講者数	2 名	5 名

・初めて iOS にふれる人を対象とした、予約制による 1 回 60 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回まで）の操作体験クラス(※2016 年度より開催)

開催回数	19 回	8 回
受講者数	19 名	8 名

・初めて iOS とパソコン両方にふれる人を対象とした、予約制による 1 回 60 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回まで）の操作体験クラス

開催回数	0 回	0 回
受講者数	0 名	0 名

⑭ 点字教室修了者の自主活動（点字学習サークル）の支援

※コロナ感染拡大防止のため、前年度に引き続き活動中止。

⑮ サピエ図書館の利用促進

引き続きサピエ図書館の利用促進のため、来館者や電話、新規利用登録の際、利用者の読書環境を考慮しながら、サービス概要説明を積極的に行なった。

・当館を登録館としたサピエ個人登録者数　3,172 名　2,986 名

⑯ 各システムの維持管理と機器の更新と改修

・サピエ図書館、および当館の基幹システムである CLIS 図書館総合システムの安定的稼働に努めた。また、サピエ図書館においては、サーバの更新作業の他、最新のスクリーンリーダーに対応した音声読み上げ向上と、サピエ事務局限定機能強化を目的とした改修の他、国会図書館のシステムが更新したことによるサピエ図書館との連携改修について、各開発保守業者、全国視覚障害者情報提供施設協会関係者、各専用端末・ソフトウェアの開発販売業者と協力して行なった。

・国内 68 団体の点字図書館等が導入している、サピエ図書館と一体化された出納業務管理システムである Web 図書館システムについて、電話やメール、サピエ研修会などで運用支援を行なった。また、新規 1 団体の導入支援を行なった。

⑰ 視覚障害以外の障害者への読書支援

・全利用登録者数	53 名	46 名
・新規利用登録者数	7 名	4 名
・当館を登録館としたサピエ個人登録者数	43 名	38 名

[図書製作]

1. 点字図書・触図等の製作

（1）点字図書の製作、ボランティアの養成・指導

	2022 年度	2021 年度
① 発表点字図書数	162 タイトル 684 冊	162 タイトル 685 冊
（ア）ボランティアによる点訳書	132 タイトル 589 冊	132 タイトル 579 冊
（イ）点字出版図書	30 タイトル 95 冊	30 タイトル 106 冊
② ボランティアの養成・指導		
（ア）ボランティアによる点訳受入実績	129 タイトル	137 タイトル

		562 冊	614 冊
（イ）ボランティア数（年度内点訳・校正実績有）			
		56 名	60 名
（ウ）現役点訳者を対象とした点訳技術指導			
	延べ実施数	1 回	1 回
	延べ人数	51 名	50 名

③ リクエストによる点字図書製作・ボランティア実績（東京都委託分）

（ア）点訳希望者	57 名	92 件	77,729 ページ
（イ）点訳者	16 名	15 グループ	

(2) 点字図書等の頒布、触図等の製作・監修

① プリンタ図書の頒布	16 件	15 件
	40 冊	22 冊
	1,892 ページ	1,721 ページ
② 点字プリントアウト・サービス	175 件	134 件
	16,364 ページ	19,218 ページ
③ 点字出版図書の頒布	326 タイトル	364 タイトル
	1,076 冊	831 冊
④ 点字図書給付事業取扱件数	114 件	104 件
	163 冊	227 冊
⑤ 視覚特別支援学校理療教科用図書の頒布		
『医療と社会』点字版	38 件	19 件
	152 冊	76 冊
『医療と社会』点字版（デイジー版付き）	9 件	4 件
	36 冊	16 冊
⑥ 視覚特別支援学校高等部用教科書の頒布		
『be English Logic and Expression Ⅰ Clear』		
	23 件	－件
	138 冊	－冊
『SELECT English Expression Ⅰ New Edition』		
	18 件	34 件
	54 冊	102 冊
『MY WAY English Expression Ⅱ New Edition』		
	8 件	3 件
	56 冊	21 冊
『科学と人間生活』	28 件	－件

	252 冊	－冊
『科学と人間生活　新訂版』（旧課程）	3 件	20 件
	18 冊	120 冊

⑦ 文部科学省著作教科書の製作
特別支援学校中学部視覚障害者用『社会（公民的分野）』（3 年生用）

32 件	34 件
384 冊	408 冊

⑧ 普通小学校に通う児童のための点字教科書作成

16 教科　122 冊	19 教科　139 冊

⑨ 自費出版図書の発行など
『中途視覚障害者のための点字入門』102 冊を販売した。
『点字入門　書き方編』35 冊を販売した。
『日本点字表記法 2018 年版』15 冊を販売した。
『点訳のしおり 新版』12 冊を販売した。

⑩団体・企業等からの依頼による触知案内図・点字サインの製作と監修
公園案内板　各種の製作・監修
駅施設案内板　各種の製作・監修

2. 録音図書・録音雑誌・電子書籍の製作

（1）録音図書の製作、ボランティア実績

	2022 年度	2021 年度
① 発表録音図書数	338 タイトル	395 タイトル
	2,765 時間	3,458 時間
（ア）スタジオ録音による製作図書（朗読・デイジー編集）		
	92 タイトル	93 タイトル
	765 時間	947 時間
（イ）録音図書ネットワーク製作システムによる製作図書（朗読・デイジー編集）		
	194 タイトル	251 タイトル
	1,657 時間	2,158 時間
（ウ）シネマ・デイジーの製作（デイジー編集）		
	4 タイトル	3 タイトル
（エ）テレビ・デイジーの製作（デイジー編集）		
	48 タイトル	48 タイトル

② 録音図書のボランティア実績
（ア）朗読ボランティア

	46 名	45 名
（イ）デイジー編集ボランティア数（重複あり）		
	8 名	12 名
（ウ）録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア数（重複あり）		
	83 名	89 名
（エ）現役朗読者を対象とした朗読技術指導		
延べ実施数	3 回	3 回
延べ人数	60 名	84 名

③ リクエストによる録音図書製作・ボランティア実績（東京都委託分）

（ア）録音希望者	51 名	116 件	1016 時間 43 分
（イ）朗読者	44 名		
（ウ）デイジー編集者	35 名		

(2) 録音雑誌の製作

録音雑誌 月刊「にってんデイジーマガジン」の製作とサピエ図書館への登録

(3) 池田輝子記念文庫製作事業

スタジオ録音及びデイジー編集により、 65 タイトルの録音図書を製作した。

(4) 電子書籍の製作数

① テキストデイジー完成図書	198 タイトル	300 タイトル
② マルチメディアデイジー完成図書	7 タイトル	6 タイトル
	22 時間	11 時間

③ 電子書籍のボランティア実績

（ア） クラウドソーシング型図書校正システムを使った校正実績		
	557 名	557 名
全 411 タイトルのうち、		
日本点字図書館	304 タイトル	401 タイトル
京都ライトハウス	107 タイトル	88 タイトル
千葉県立西部図書館	0 タイトル	1 タイトル
（イ）テキストデイジー編集ボランティア	36 名	36 名
④ リクエストによるテキストデイジー製作	83 件 27 名	73 件 24 名
⑤ リクエストによるテキストデータ製作	22 件 8 名	34 件 10 名

(5) ChattyInftyOnline（チャティ・インフティ・オンライン）の運営

国立大学法人筑波技術大学と共同で運営した。

[委託・補助・助成事業]

1. 厚生労働省委託事業

視覚障害者用図書等事業

	2022 年度	2021 年度
① 点字図書製作	30 タイトル	30 タイトル
	5,947 冊	6,730 冊
② 点字図書貸出	295 タイトル	360 タイトル
	977 冊	1,203 冊
③ 録音図書製作		
音声デイジー図書	15 タイトル	15 タイトル
マルチメディアデイジー図書	6 タイトル	6 タイトル
④ 録音図書貸出		
音声デイジー図書	500 タイトル	597 タイトル
マルチメディアデイジー図書	64 タイトル	45 タイトル

2. 厚生労働省補助事業

視覚障害者用図書情報等ネットワーク運営事業（サピエ図書館）

		2022 年度	2021 年度
① 会員数	個人	19,951 名	19,256 名
	施設	459 ヶ所	437 ヶ所
② 目録タイトル		1,214,720 タイトル	1,189,613 タイトル
③ 点字データタイトル数		253,223 タイトル	242,646 タイトル
		898,829 件	864,167 件
④ 年間点字データアップ数		11,137 タイトル	11,110 タイトル
⑤ 年間点字データダウン数			
	個人	446,015 タイトル	528,667 タイトル
	施設	25,406 タイトル	23,942 タイトル
⑥ 音声デイジーデータタイトル数		116,920 タイトル	109,441 タイトル
⑦ 年間音声デイジーデータアップ数		9,660 タイトル	8,954 タイトル
⑧ 年間音声デイジーデータダウン数			
	個人	4,050,680 タイトル	3,699,549 タイトル
	施設	270,170 タイトル	258,832 タイトル

⑨ テキストデイジーデータタイトル数		14,085 タイトル	12,385 タイトル
⑩ 年間テキストデイジーデータアップ数		1,738 タイトル	1,801 タイトル
⑪ 年間テキストデイジーデータダウン数			
	個人	260,896 タイトル	281,381 タイトル
	施設	4,930 タイトル	4,996 タイトル
⑫ マルチメディアデイジーデータタイトル数		431 タイトル	394 タイトル
⑬ 年間マルチメディアデイジーデータアップ数		51 タイトル	61 タイトル
⑭ 年間マルチメディアデイジーデータダウン数			
	個人	5,950 タイトル	6,523 タイトル
	施設	556 タイトル	444 タイトル
⑮ 年間音声デイジーデータストリーミングタイトル数			
	個人	705,475 タイトル	633,019 タイトル
	施設	11,152 タイトル	10,989 タイトル
⑯ 年間目録検索件数		4,759,957 件	3,176,443 件
⑰ 年間オンラインリクエスト受信数		246,251 件	281,429 件
⑱ 全国の点字図書館・公共図書館等に対する情報提供		65,418 件	70,093 件
内訳（複数提供あり）			
	電話	48,743 件	51,196 件
	点字・録音・墨字	19,720 件	21,679 件
	メール	2,226 件	2,962 件
	口答	351 件	558 件

3. 東京都委託事業

（1）東京都視覚障害者用図書製作貸出事業

① 点字図書の製作・貸出

（ア）製作　プリンタ図書	47 タイトル（162 巻×2 部複製）	
（イ）貸出	202 タイトル	744 冊

② 声の図書の製作・貸出

（ア）製作	74 タイトル（74 枚×5 部複製）	
（イ）貸出	2,812 タイトル	2,829 枚

③ 希望図書の製作

（ア）点訳希望者　57 名　92 件　77,729 ページ
（点訳者 16 名　15 グループ）
（イ）朗読希望者　51 名　116 件　1016 時間 43 分
（朗読者　44 名　編集者　35 名）

(2) 東京都視覚障害者用図書レファレンスサービス事業

視覚障害者、施設・団体に対する情報提供数　34,080 件
内訳（複数提供あり）
電話　29,455 件
点字・録音・墨字　5,563 件
メール　843 件
口答　333 件

4. 東京都補助事業

東京都からの補助金を得て、都内貸出事業を実施した。

5. 省庁・自治体からの委託・補助による事業

(1) 東京都消費生活総合センター

CD 版「東京くらしねっと」の作成及び配布		6 回	3,777 部

(2) 各市区町村委託事業

① 「広報新宿」	点字版製作及び配布	41 回	1,312 部
② 「しんじゅくの教育」	点字版製作及び配布	4 回	113 部
③ 「新宿区議会だより」	点字版製作及び配布	4 回	144 部
④ 「広報高崎」	点字版製作及び配布	24 回	1,080 部
⑤ 「高崎市議会だより」	点字版製作及び配布	4 回	180 部

6. 公的機関・団体・企業等からの委託及び助成・補助による事業

(1) 社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団
第 6 回全国視覚障害者囲碁大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(2) 社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団
①「ラジオ文芸館」「新日曜名作座」「FM シアター」等、全 9 種類(音声デイジー版)の受入貸出
②「NHK 障害福祉賞入選作品集」音声デイジー版を 65 枚製作
③ 第 6 回全国視覚障害者囲碁大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(3) 社会福祉法人中央共同募金会

教職員共済生活協同組合
　点字図書 4 タイトル、録音図書 1 タイトルを製作・貸出
全国生活協同組合連合会
　点字図書 3 タイトル、録音図書 5 タイトルを製作・貸出
全国労働者共済生活協同組合連合会
　点字図書 1 タイトル、録音図書 2 タイトルを製作・貸出

(4) 社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団
チャリティコンサート開催費助成

(5) 社会福祉法人日本盲人福祉委員会
令和 4 年度参議院選挙公報の点字版を 2,640 部製作、音声版を 296 部複製

(6) 社会福祉法人読売光と愛の事業団
① ロービジョン機器等相談事業の実施
（ア）職員研修の実施
開催日　2022 年 10 月 21 日（金）
テーマ「ありのまま　～Well-being～」
講師　八巻真哉氏（米国アップル日本法人アップルジャパン・
東京大学先端科学技術研究センター）
参加者　59 名
（イ）ロービジョン向けグッズの充実、新型の携帯型読書器等 221 件 1,070 点を貸出
（ウ）本間一夫文化賞クリスタル盾製作
② 専門対面リーディングサービス事業の実施　　利用者数 227 名
③ 視覚障害者用就労支援機器の購入

(7) 公益財団法人 JKA
「障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動」として、録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」を月 1 回年 12 回製作・発行。「にってんデイジーマガジン」に収録し、利用者・点字図書館・視覚特別支援学校・ハンセン病療養施設等へ 66,788 枚配布。

(8) 公益財団法人鉄道弘済会
録音雑誌「ブックウェーブ」を月 1 回年 12 回製作・配布(「にってんデイジーマガジン」に収録して配布)

(9) 公益財団法人東京都人権啓発センター
機関誌「TOKYO 人権」マルチメディアデイジー版を年 4 回製作、CD108 枚複製、サピエ図書館で配信

(10) 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
「障害者白書　令和 4 年版」朗読マスター作成

(11) 公益財団法人日本尊厳死協会
点字版「リビング・ウイル」を年 4 回、127 冊製作

(12) 公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団
点字カレンダー38,385 部の製作

(13) 公益財団法人早川清文学振興財団
「ハヤカワライブラリー」10 タイトルを製作し、151 ヶ所へ配布(計 1,650 枚)

(14) 公益財団法人一ツ橋綜合財団
① 録音図書「一ツ橋文庫」10 タイトルを製作・貸出
② テキストデイジーの製作・提供
③ 音声・マルチメディアデイジー教材製作 Web システムの改良と普及への取り組み
④ 録音図書ネットワーク製作システム「びぶりお工房」の維持運用

(15) 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団
第 6 回全国視覚障害者囲碁大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(16) 公益信託久保記念点字図書援助基金
貸出提供のための録音図書用 CD および SD カード複製機の購入

(17) 一般財団法人 NHK サービスセンター（現・一般財団法人 NHK 財団）
テレビ・デイジー48 タイトルの編集製作に係る助成

(18) 一般財団法人日本宝くじ協会
点字図書 3 タイトル、録音図書（音声デイジー）3 タイトル、録音図書（シネマ・デイジー）3 タイトルを製作・貸出

(19) 一般社団法人全国腎臓病協議会
機関紙「ぜんじんきょう」CD 版を 1,714 枚複製・配布

(20) 一般社団法人日本アマチュア無線連盟
「点字 JARL NEWS」を年 4 回、393 冊製作

(21) 株式会社岩波書店
岩波新書等のデイジー版を製作・貸出

(22) 株式会社広済堂ネクスト
「文京スクエア」CD 版　年 12 回　270 部製作・発送

(23) 株式会社トラバース
新製品情報「SONY 聞くカタログ 第 60 号」を製作、「にってんデイジーマガジン」に収録・配布

(24) 株式会社ニッポン放送第 48 回ラジオ・チャリティ・ミュージックソン実行委員会
録音図書のデイジー編集製作に係る経費の助成

(25) 株式会社日本財託

備品整備・施設整備への助成

（26）株式会社文藝春秋
録音雑誌「文藝春秋」を月 1 回年 12 回製作・配布（「にってんデイジーマガジン」に収録して配布）

（27）三菱商事株式会社
拡大読書器を購入し、網膜色素変性症や緑内障、加齢黄斑変性症などの眼疾患でロービジョンになった方に、高額な商品の選定に失敗がないよう購入前にご自宅での環境で試せるよう貸出

7. 川崎市視覚障害者情報文化センター運営委託事業

2022年度も新型コロナウイルス感染予防対策による制限を受けながら、事業を進めた1年だった。8月2日に神奈川県は、BA.5対策強化宣言を発令し、9月末まで続いた。そのような状況の中、センターではこれまでの感染予防対策に加え、CO2濃度測定器を設置し、換気に十分注意しながらイベントを中止することなく開催した。

図書の貸出は、前年度より貸出数が多少減少した。コロナ禍の中、利用者も感染予防をしながらも日常を取り戻しており、前年度より読書にかける時間が減少傾向にあると思われる。そのような中、メモリーメディアによる貸出の普及を進めており、貸出数は増加している。

図書製作では、点訳ボランティア養成講座（全16回）を開催し、受講生4名が全員合格し、点訳者として活動をスタートした。

相談・訓練については、それぞれ前年度より利用者が増加している。医療や地域資源との連携が進み、比較的早い段階でセンターにつながってきていること、お困りごとに対して、その都度相談したいというニーズに対応したことが理由と思われる。

イベントについては中止することなく、予定どおりに開催することができた。総じて、感染予防に注意しながらも、利用者もそれに慣れ、計画した事業が実施できた一年であった。

（1）閲覧・貸出

		2022 年度	2021 年度
① 利用登録者数		521 名	507 名
	（新規登録者数）	20 名	26 名
	（点字使用者数）	128 名	126 名
② 利用登録団体		304 施設	297 施設
	（新規利用登録団体数）	7 団体	4 団体
③ 点字図書の蔵書数および貸出・提供			
蔵書数	（タイトル）	3,608 タイトル	3,457 タイトル

	（冊数）	12,733 冊	12,308 冊
蔵書数の変化	（新収書）	151 タイトル	176 タイトル
		425 冊	350 冊
貸出数		336 タイトル	308 タイトル
		1,125 冊	1,070 冊
	（内 他館借受）	76 タイトル	78 タイトル
		264 冊	252 冊
	（雑誌）	213 タイトル	229 タイトル
点字図書コンテンツのダウンロード提供			
メモリーメディア		28 タイトル	4 タイトル

④ 録音図書の蔵書数および貸出・提供

蔵書数	（タイトル）	6,579 タイトル	6,436 タイトル
	（枚数）	6,615 枚	6,470 枚
蔵書数の変化	（新収書）	447 タイトル	251 タイトル
		447 枚	252 枚
貸出数			
（ア）カセットテープ		0 タイトル	14 タイトル
		0 巻	73 巻
（イ）ＣＤ図書		7,792 タイトル	9,008 タイトル
	（内 他館借受）	3,485 タイトル	4,176 タイトル
（ウ）ＣＤ雑誌		3,945 タイトル	4,145 タイトル
デイジー図書コンテンツダウンロード提供			
メモリーメディア		4,370 タイトル	4,025 タイトル

⑤ レファレンスサービス情報提供件数　583 件　332 件

(2) 資料製作

① 点字図書の製作数

（ア）製作数		52 タイトル	47 タイトル
		198 冊	158 冊
内訳			
	委託製作数	23 タイトル	20 タイトル
		87 冊	69 冊

委託外製作数	29 タイトル	27 タイトル
	111 冊	89 冊
（イ）寄贈	32 タイトル	35 タイトル
	92 冊	78 冊
（ウ）プライベートサービス	11 タイトル	7 タイトル

② 録音図書の製作数

（ア）製作数	86 タイトル	92 タイトル
内訳		
委託製作数	65 タイトル	69 タイトル
委託外製作数	21 タイトル	23 タイトル
（イ）デイジー編集	86 タイトル	92 タイトル
（ウ）寄贈	104 タイトル	20 タイトル
（エ）プライベートサービス	19 タイトル	19 タイトル
内訳		
録音	11 タイトル	10 タイトル
テキストデイジー（合成音声デイジー含）		
	3 タイトル	3 タイトル
プレーンテキスト	3 タイトル	1 タイトル
PDF	0 タイトル	1 タイトル
テープのデイジー化	2 タイトル	4 タイトル

③ テキストデイジー図書の製作数	5 タイトル	1 タイトル

④ シネマ・デイジー/音声ガイドの製作数

製作数	25 タイトル	21 タイトル
内訳		
センター内製作数	10 タイトル	4 タイトル
委託製作数	15 タイトル	17 タイトル

(3) 点訳ボランティア、朗読ボランティアの養成

① 点訳ボランティア養成講座

開催回数	16 回	－
受講者数	4 名	－

② 点訳ボランティアスキルアップ研修会

	開催回数	2 回	4 回
	受講者数	63 名	50 名
③ 朗読ボランティア養成講座			
	指導回数	－	12 回
	延べ受講者数	－	108 名
	実受講者数	－	9 名
④朗読ボランティアスキルアップ研修会			
	指導回数	4 回	1 回
	延べ受講者数	65 名	36 名
	実受講者数	32 名	36 名

(4) 訓練・相談事業の取り組み

① 訓練	訓練者実数	59 名	495 回	47 名	363 回
	(新規訓練者数)	14 名		29 名	
内訳（複数提供あり）					
	歩行訓練	17 名	263 回	15 名	153 回
	パソコン訓練	4 名	17 回	4 名	83 回
	ICT 訓練	12 名	63 回	6 名	29 回
	点字訓練	2 名	13 回	2 名	3 回
	生活訓練(日常・調理)	10 名	97 回	8 名	48 回
	その他	14 名	42 回	12 名	47 回
② 相談		217 名	588 回	216 名	531 回
③ 用具の展示と販売紹介	展示点数		387 点		372 点
	販売紹介点数		1,215 点		1,372 点

(5) 啓発普及

① 事業報告会の開催

7 月　訓練事業説明会　　参加者数　13 名

② 授業・講座への講師派遣

（ア）当事者職員による「視覚障害者の生活について」小学校授業

6 月 23 日　高津小学校　参加者 4 年生約 200 名

10 月 19 日　藤崎小学校　参加者 4 年生約 100 名

11 月 15 日　浅田小学校　参加者 4 年生約 50 名

11 月 24 日　東門前小学校　参加者 4 年生約 130 名
11 月 30 日　今井小学校　参加者 4 年生 113 名
12 月 6 日　向小学校　参加者 4 年生 61 名
2 月 17 日　宮前小学校　参加者 4 年生約 120 名

（イ）同行援護従業者研修講師
総合研修センターにおいて実施された同行援護従業者（一般過程）研修「同行援護の基礎知識」講師派遣
7 月 13 日　参加者 14 名
9 月 13 日　参加者 13 名
2 月 15 日　参加者 12 名

③　訓練生交流会の開催
(ア)屋外交流会（10 月）　高尾山散策
参加者 17 名（内訳：訓練生 6 名+ガイドヘルパー4 名+職員 7 名）
（イ）Zoom を使用した交流会
当事者間の情報交換会（5,8,11,3月）　開催数4回　延べ参加者数　32名

④　イベントの開催
（ア）春、冬のコンサート（ 5 月, 2 月）　開催数 2 回　延べ参加者数　159 名
（イ）小説の中の音を楽しむ会（6 月, 1 月）　開催数 2 回　延べ参加者数　40 名
（ウ）ジャズ講座（7,8,10,12,2 月）‥‥‥‥　開催数 5 回　延べ参加者数　126 名
（エ）川崎市視覚障害者福祉協会主催ウェアラブル用具展への協力（8 月）
‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　参加者数　25 名
（オ）古今亭菊太楼落語会（12 月）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　参加者数　78 名
（カ）音声ガイド付き DVD 映画体験上映会　開催数 24 回　延べ参加者数 403 名
（キ）歴史的音源を聴く会「れきおんクラブ」 開催数 6 回　延べ参加者数 98 名
（ク）チャレンジド・ヨガ　‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　開催数　30 回　延べ参加者数 188 名

Ⅱ≪社会福祉事業 2≫

障害福祉サービス事業及び特定相談支援事業の経営

1. 相談支援事業

（1）基本相談	2022 年度	2021 年度
	410 件	329 件

相談内容は、視機能の低下に伴う不安や困りごとに関することが多く、そのかたのニーズにあわせ、自立訓練、同行援護、用具の紹介などを行なった。

（2）計画相談（新宿区・中野区・豊島区　他）	99 件	113 件

2. 自立訓練（生活訓練）事業

自立訓練（生活訓練）	2022 年度		2021 年度	
実人数	79 人		72 人	
延べ回数	2,343 回		1,973 回	
内訳（複数提供あり）				
歩行訓練	25 人	312 回	18 人	194 回
点字訓練	24 人	572 回	18 人	507 回
ICT 訓練※	57 人	1,309 回	46 人	1,135 回
日常生活訓練	11 人	41 回	10 人	69 回
ロービジョン訓練	2 人	37回	3 人	36回
運動・余暇	33人	74回	16人	32回

※ICT訓練とは

パソコン、スマートフォン、タブレット等のICT機器を音声出力、音声入力、拡大出力等を利用することにより活用できるようになるための訓練

3. 医療機関との連携

相談会の実施	2022 年度	2021 年度
お茶の水・井上眼科クリニック	2 回	0 回
西葛西・井上眼科病院	0 回	1 回
東京女子医科大学病院	－	4 回

コロナ禍において、井上眼科での相談会は通常のように実施できなかった。東京女子医科大学病院での相談会は、主催者の眼科医が別病院に異動したため 2021 年度で終了している。

4. 点字教室の実施

点字教室	2022 年度	2021 年度
開催回数	83 回	23 回
延べ受講者数	173 名	39 名
（新入生）	4 名	0 名

※2021 年 12 月より、感染対策を行った上で週に 1 回実施

5. 短期訓練の実施

短期訓練（1 コマ 1 時間の 6 コマ）	2022 年度	2021 年度
	12 名	11 名

Ⅲ≪公益事業≫

盲人生活用具の開発と普及及び国際視覚障害者情報提供協力事業

1. 視覚障害者用具の販売斡旋

	2022 年度	2021 年度
（1）取扱商品点数	913 点	904 点
販売斡旋数	74,576 点	73,274 点
（2）新商品（新規取扱商品）	31 点	22 点

主な新商品：拡大読書器クローバーブック、拡大読書器クローバーブックライト、携帯型拡大読書器ルビー10 スピーチ、拡大読書器アイラビュー13FHD、音声・点字携帯情報端末ブレイルセンスシックスミニ、a page ア・ページ ロービジョンノート、HONESTIES インナー　メンズ・ウィメンズ、オリンパス IC レコーダーボイストレック VN-551P、ミスフランシスのクリップ、なでなでねこちゃん DX2、GNSS ボイスウオッチ、書籍『白い杖、空を行く』（田中徹二著）など

（3）海外諸国への輸出件数	5 件	5 件

主な輸出国：台湾、韓国、香港、アメリカ、カナダ

主な販売商品：触読腕時計、音声腕時計、一体オセロ、N632 小型点字器、標準点字盤、ユニバーサルタイマー、スライド式サポートケーン、ID ケーン、点字キーホルダー「マスコットブレイル」、サウンドテーブルテニスボール、サッカーボール、バレーボール

（4）体験会・展示会		
（ア）各種機器体験会の実施	21 回	0 回

（イ）展示会への出展	3ヶ所	0ヶ所
（ウ）用具商品の貸出展示 （貸出先：点字図書館など）	6回	2回
（エ）ゲーム会の開催	0回	0回
（オ）補装具・日常生活用具制度の説明、各種相談会開催	1回	2回（内オンライン1回）

(5) インターネットショッピングサイト「わくわく用具ショップ」の運営

① 会員数	6,675名	6,210名
② 新規会員数	474名	436名
③ 受注件数	5,157件	5,548件
④ 受注商品点数	26,968点	34,896点

(6) 広報の充実

① 新商品情報誌｢ニュー用具タイムズ｣を年4回製作。(5月、7月、11月、3月)
「にってんデイジーマガジン」、「サピエ図書館」にコンテンツを提供した。

② 「ホームライフ」の「わくわく用具タイム」のコーナーで、新商品を4回紹介した。

③ インターネットショッピングサイト「わくわく用具ショップ」会員に対して、メールマガジンを配信し、新商品のお知らせやイベントを紹介した。

④ 日本点字図書館公式ツイッターにおいて、新商品の紹介などに関する投稿を7回行なった。

(7) 企業CSRとの連携

株式会社アートコーヒー、東京海上日動安心110番株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、日本郵船株式会社、三菱商事株式会社、三菱食品株式会社、三菱鉱石輸送株式会社のボランティア活動において、用具事業課で使用する点字シールや封筒を製作していただいた。

2. 厚生労働省委託事業

	2022年度	2021年度
盲人用具販売あっ旋事業	14種	17種
	17,206点	17,267点

3. 池田輝子ICT奨学金事業

第18回池田輝子ICT奨学金事業をオンラインで実施した。

実施期間：2022年7月4日～7月15日 ICT訓練 中級コース

2022 年 7 月 4 日～7 月 8 日 エンパワメント講習

参加者： ICT 訓練 中級コース 5 名

エンパワメント講習 14 名

4. アジア盲人図書館協力事業

一般社団法人霞会館の助成により、インドネシア共和国メダン市の視覚障害者支援団体「ハラパン・バル」に対し、点字プリンタ 1 台の提供と操作指導を行った。

Ⅳ≪収益事業≫

マンションの設置経営

2 棟の賃貸マンション（総戸数 34 戸）を運営し、生じた収益は、社会福祉事業及び公益事業に充当した。

Ⅴ≪本部事業≫

1. 寄付・助成金の増収

(1) 毎年継続の寄付の依頼状発送に加え、新規寄付者獲得に努力した。

	2022 年度	2021 年度
新規寄付者	194 名	193 名
総件数	7,455 件	8,035 件

(2) ワンブック・プレゼント運動

点字図書	12 件　35 口	10 件　30 口
録音図書	24 件　78 口	20 件　62 口

2. 日本点字図書館カード会員の拡大

ホームページ上の特設ページで広報し、加入者の拡大を図った。

3. チャリティ映画会・コンサートの実施

(1) チャリティ映画会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催。

(2) チャリティコンサートの開催

第 20 回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート
「武久源造　リサイタル with バロックダンス　岩佐樹里　バッハ＝躍動する命」
2022 年 11 月 27 日（日）　東京文化会館　小ホール
来場者　300 名

4. 第 19 回本間一夫文化賞の贈呈

株式会社小林鉄工所・代表取締役社長　小林博紀氏（自動点字製版機等の製造販売に尽力し点字印刷・点字出版による点字文化の維持発展に貢献）

5. 第 29 回にってん野路菊賞の贈呈

栁川昭二氏（点字タイプライターの修理に貢献）

6. 広報誌その他の活動

① 広報誌「にってんフォーラム」（年 4 回、各 5,820 部）を発行した。

②「感謝録」（7,500 部）を発行し、寄付者を中心に関係団体等に配布した。

③「事業案内」（1,900 部）を発行し、寄付依頼に同封するとともに、関係者（団体）等に配布した。

④ ホームページから定期的に情報を発信した。訪問者数の合計 516,675 件、ページ閲覧数の合計 891,317 件

⑤ ツイッターによる情報発信を延べ 96 件おこない、フォロワー4,149 名を獲得した（前年比 163 名増）

⑥ 当館からのお知らせや企業・団体等から寄せられた催しをメールで案内する「にってんニュースレター」を合計 15 回、延べ 7,251 名に配信した。

⑦ 見学の受け入れ　147 件 492 名

※感染予防のため、人数を制限して実施。

7. イベントの実施、他団体への協力

（1）主催

視覚障害や当館事業にかかる 1 回 1 テーマの体験型講座「にってんワークショップ」を開催（全 10 回、参加者数 111 名）

第 1 回 テーマ「点字」
開催日：2022 年 5 月 21 日（土）
参加者：11 名

第 2 回 テーマ「視覚障害者の読書」
開催日：2022 年 6 月 18 日（土）
参加者：10 名

第 3 回 子ども向け特別企画「夏休み・キッズチャレンジ！」
開催日：2022 年 8 月 6 日（土）
参加者：32 名

第 4 回 テーマ「見えない・見えにくい人に役立つ便利グッズ」
開催日：2022 年 9 月 10 日（土）
参加者：10 名

第 5 回 テーマ「耳で聞く読書」
開催日：2022 年 10 月 8 日（土）
参加者：9 名

第 6 回 テーマ「点字」
開催日：2022 年 11 月 19 日（土）
参加者：11 名

第 7 回 テーマ「視覚障害者の読書」
開催日：2022 年 12 月 3 日（土）
参加者：8 名

第 8 回 テーマ「歩行」
開催日：2023 年 1 月 21 日（土）
参加者：9 名

第 9 回 テーマ「見えない・見えにくい人に役立つ便利グッズ」
開催日：2023 年 2 月 18 日（土）
参加者：7 名

第 10 回 テーマ「耳で聞く読書」
開催日：2023 年 3 月 11 日（土）
参加者：4 名

（2）共催・協力

Tokyo Eye Festival 2022

ロービジョンコーナーにて当館の事業を紹介したポスターを展示。
開催日：2022 年 10 月 8 日（土）～10 月 9 日（日）
会場：新宿駅西口広場イベントコーナー「ガラスの扉のイベント広場」
来場者数：1,991 名

※同時開催としてオンライン開催

Tokyo Eye Festival の特設ページから動画配信
期間：10 月 1 日（土）～10 月 31 日（月）
当館は「視覚障害者の読書　日本点字図書館の活動」「福祉施設紹介」の 2 つの動画を提供。
アクセス数：5,947

8. にってんカルチャー講座の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催。

9. 奥村文庫(視覚障害関係墨字資料室)の充実

視覚障害に関わる情報収集を行ない、問い合わせに対して適切な資料と情報の提供に努めた。

		2022 年度	2021 年度
視覚障害関係墨字資料の収集		1,084 点	907 点
利用件数	来室者	713 人	441 人
	レファレンス	522 件	397 件
	複写サービス	78 枚	127 枚

10.「ふれる博物館」の運営

共催：手と目でみる教材ライブラリー

水・金・土曜日に開館。

① 第 10 回企画展「手でみる彫刻」
協力：大東文化大学、小原二三夫氏
会期：2022 年 5 月 18 日(水) ～ 9 月 17 日(土) (45 日間)
来場者数： 210 人(うち視覚障害者 79 人※)

② 第 11 回企画展「石を感じる」
協力：一般財団法人地球の石科学財団奇石博物館
会期：2022 年 11 月 16 日(水)～2023 年 3 月 18 日(土) (48 日間)
来場者数：204 人(うち視覚障害者 58 人※)

年間合計　開館日数 93 日　来場者 414 人（昨年度　102 日・407 人）

注：※は概数

③ ワークショップ「視覚障害者向け天然顔料を作る体験会「小さな石から」」を開催
開催日：2023 年 2 月 25 日（土）
会場：本館多目的室 AB

講師：橋本弘安（日本画家）
参加者：16 人（うち視覚障害者 10 人）

11. 本間一夫記念室の維持管理

①創立者本間一夫及び当館の歴史関係資料を収集管理し、来館者に公開した。
年間来室者数　486 人（昨年度　123 人）

②録音図書ネットワーク配信サービスについての著作権許諾の葉書の整理を行った。

③古い資料のデータ化を行った。
「点訳通信」（点訳者向け手書き謄写版印刷）のワードデータ化
（第 32 報：昭和 29 年～第 34 報：昭和 29 年、全 3 報）
（第 36 報：昭和 29 年～第 46 報：昭和 31 年、全 11 報）
（第 48 報：昭和 31 年～第 49 報：昭和 31 年、全 2 報）
（第 52 報：昭和 32 年～第 84 報：昭和 38 年、全 33 報）
（第 106 報：昭和 43 年～第 133 報：昭和 50 年、全 28 報）

Ⅵ≪会議・研修・福利厚生≫

1. 会議

（1）役員会の開催

① 理事会	5 回
② 評議員会	2 回
③ 評議員選任・解任委員会	1 回

（2）部課長会議・グループリーダー会議の開催

① 部課長会議	12 回
② グループリーダー会議	12 回（内 9 回紙面開催）

（3）各委員会の開催

① にってんフォーラム編集委員会	8 回
② 福利厚生事業実行委員会	0 回
③ ホームページ製作委員会	0 回
④ 選書委員会	9 回
⑤ 施設公開実行委員会	9 回
⑥ 防災・衛生委員会	1 回
⑦ チャリティ映画選考委員会	0 回
⑧ 本間記念室・ふれる博物館委員会	3 回
⑨ 事業等検討委員会	10 回

2. 表彰・研修

(1) 表彰関係

① 奉仕者（外部表彰）

（ア）東京都知事感謝		1名
（イ）東京都社会福祉協議会会長表彰		2名・1グループ
東京都社会福祉協議会会長感謝		1名
（ウ）日本盲人社会福祉施設協議会表彰		1名
（エ）鉄道弘済会表彰		2名

② 勇退奉仕者（内部表彰）

感謝状と記念品の贈呈	16名1団体

③ 職員

（ア）理事長表彰

永年勤続表彰	職員	4名
	パートタイマー	2名
感謝状		3名
アイデア賞		1名
奨励賞		4名

（イ）外部表彰

日本盲人社会福祉施設協議会（永年勤続）	3名
東京都社会福祉協議会（永年勤続）	1名

(2) 職員研修

外部主催研修　34件、延べ72名

3. 福利厚生

(1) 職員健康診断を106名（高田馬場93名、川崎13名）に実施した。

(2) ストレスチェックを103名（高田馬場90名、川崎13名）に実施した。

4. その他（講師派遣）

以下の研修会等に講師派遣を行なった。

・筑波大学保健科学部　「視覚障害者の読書環境」について講和
・東京都福祉保健財団主催 令和4年度福祉用具サービス業務従事者講習会
・川崎市立向小学校4年生福祉授業
・川崎授産学園点字入門講座ミニ講演
・静岡市立図書館音訳ボランティア「ひびきの会」研修会

・第30回千葉市視覚障害者福祉大会記念講演
・西宮市視覚障害者図書館WEB図書館講習会
・ロクシタン営業部アニュアルカンファレンス2022　全国124ロクシタン店舗スタッフの研修会
・東京都主催 令和4年度障害者ケアマネジメント研修
・2022年度全国視覚障害者情報提供施設協会「関東ブロック音訳指導員養成講習会」

ほか